

医療費助成の改悪断念

府民の声が制度を守る

橋下知事と府民の間に深刻な矛盾が広がっている。

毎日新聞が1月に実施した世論調査では、橋下府政の「医療・福祉」「産業振興」「防災」政策を評価する回答は、それぞれわずか1%だった。高い人気の一方で、政策評価は低い。橋下「改革」で府民の命や健康が削られることへの不安が浮かび上がる。

橋下知事は「大阪維新プログラム案」に基づき、すさまじい府民施策の切り捨てを強行した。私学助成の削減、学校の事務員の雇い止め、子育て手当の縮小、老人ホームへの補助金カット、重度障害者の住宅バリアフリー化助成の縮減……。数え上げればキリがない。その削減額は2008年度だけで245億円に及ぶ。

橋下知事はさらに、高齢者・障がい者・乳幼児・ひとり親家庭への福祉4医療費助成制度の改悪を打ち出した。当初、知事の方針は、窓口負担1回500円を1割とし、障がい者・乳幼児の所得制限を厳しくする内容だった。府民の猛烈な反対により、09年度予算案の提出段階で、窓口負担を1回800円とし、障がい者の所得制限を現行維持

とする案に修正させた。それでも橋下知事は、全国最低の府の乳幼児医療費助成制度(表)の所得制限強化を維持した。これにより、8000人の子どもたちを制度外へと追いやる。公約の「子どもが笑う大阪」どころか、「子どもを泣かす」橋下「改革」だ。

知事案が示されて以後も、現行制度の存続を求める署名が100万人以上から寄せられ、昨年9月議会では、制度維持の請願が全会一致で採択された。協会や社保

協が2月に取り組んだ署名は、短期間で3万筆以上を集約した。これらの運動で、橋下知事は3月23日、ついに現行制度改悪の新年度実施を断念した。

しかし、橋下知事は4医療費助成の改悪をあきらめたわけではない。09年度予算では「社会経済情勢を踏まえ、(中略)抜本的見直しを行うまでの間、現行制度を継続する」と

と、あくまで暫定的措置だとしている。引き続き、医療費助成制度の存続と充実を求める府民的な運動が必要になってくる。この間、4医療費助成制度は大幅に削減されてきた。高齢者への助成は原則廃止、04年からは一部負担金を導入された。その結果、4医療費助成の予算は府の予測額の260億円を大幅に下回り、185億円(10年度見込み)まで削減された(グラフ)。橋下知事は「持続可能な制度にする」とうそぶくが、これ以上の予算削減の必要はまったくない。(つづく)

女性医師・歯科医師の会

治療標的は自尊心の向上

ADHDの対応について学ぶ

ち着きがなく、言っていることを聞かなくてすぐキレる子で心の病気にかかっている子のこと。ぐらいいの認識しなかった。AD／HDとは保護者のしつけや愛情不足が原因でおこる心の病気ではなく、中枢神経系の機能障害によっておこる発達障害である。障害のあらわれ方として「不注意・多動・衝動性」の3つがある。症状は人によって異なり、年齢を追うごとに状態は変化していく。補永氏は、治療の標的はAD／HDの基本症状ではなく、そこから生じる有害な影響を最小限に抑え、自己評価・自尊心を高めることであるとして、治療のステップについて示された。

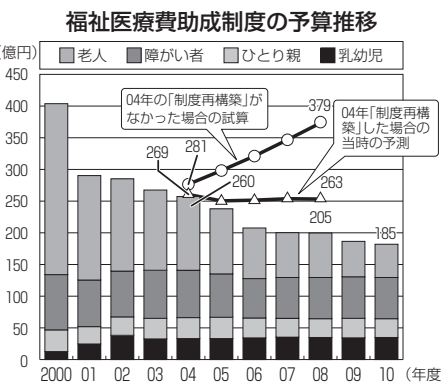
また、最後にAD／HD児の対応として、不要な物や机を教室から排除し、単純明快で簡潔な指示をすること。1対1で話せる場所・逃げ場の用意をすることなどのポイントを挙げられた。(城東区・玉川尚美)

女性医師・歯科医師の会は2月28日、「ちょっと学んで遅めの新年会」と学んで遅めの新年会を大阪市内で開き、「ADHDの概略と鑑別、対応について」を学んだ。講師は補永栄子氏(大阪市立総合医療センター児童青年精神科)で、参加者は40人。

最近、教育現場や子育ての問題でAD／HD(注意欠陥・多動性障害)やLD(学習障害)という言葉をよく聞くようになった。AD／HDというとなんとなく、落

(表)都道府県の子ども医療費助成状況(通院の上限)

年齢(学年)	都道府県
中学3年	東京
小学3年	栃木、兵庫
就学前	31道府県
6歳	徳島
5歳	香川、鹿児島
4歳	山梨
3歳	富山、石川、熊本、沖縄
2歳	大阪、宮城、新潟、福井、佐賀



協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0564

憲法9条フェスタ in OSAKA

日時 3月29日(日)
会場 保険医会館・M&Dホール
内容 記念講演「戦争・平和・そして憲法9条」(講師・品川正治経済同友会終身幹事)、映画上映「蟹工船」(うたごえ喫茶ほか)
費用 無料(うたごえ喫茶のみ参加費千円)
※保育室あり(希望者は事前に申し込み)

東大阪・八尾・柏原地区総会

記念講演「臨床に役立つ歯周治療」
日時 4月4日(土)午後6時半～9時
会場 東大阪市立市民会館 定員 1000人
講師 高津兆雄氏(大阪歯科大学歯周病学講座准教授)
会費 会員無料、未入会者1万円

4月度生涯研修

「顎関節症とその周辺疾患」
日時 4月19日(日)午前10時～午後1時
会場 M&Dホール(保険医会館隣り)
定員 1000人
講師 濱田傑氏(近畿大学医学部附属病院歯科口腔外科教授)
会費 会員3千円、未入会者1万円

共済の今日と未来を考える大阪懇話会・学習交流会

学習講演「損保自由化と自主共済攻撃」
日時 4月23日(木)午後7時～9時
会場 M&Dホール(保険医会館隣り)
定員 1000人
講師 松浦章氏(大阪損保革新懇談世話人)
会費 無料

新人スタッフ総合講座

日時 5月17日(日)午前9時30分～午後4時
会場 M&Dホール(保険医会館隣り)
定員 1200人
講師 油谷純子氏(大阪国際短期大学部教授)
会費 会員院所スタッフ6千円
内容は「患者接遇とコミュニケーション(医療安全管理研修含む)」、午後は「歯科助手編、歯科衛生士編に分かれて受講」

※1日通し参加が原則です。終了時に「修了証」を発行します。昼食は各自でご用意ください
※開催要綱、会場案内図を送付しますので、必ず事前にお申し込みください

第49回定期総会

記念講演「メタボリックシンドロームの合併症としての歯周病」
日時 5月24日(日)午後1時～3時
会場 M&Dホール(保険医会館隣り)
定員 1000人
講師 西村英紀氏(広島大学大学院歯歯学総合研究科健康増進歯学教授)
会費 会員無料、未入会者1万円

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です
※協会行事などを本紙で報道するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします
※M&Dホールとは、歯科・歯科同協会が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの名です。



桜を携帯電話で撮影する人(写真は昨年のも)

大阪の春の風物詩「造幣局 桜の通り抜け」(今年は4月15日～21日)。「通り抜け」は桜が満開になる4月中旬から1

が訪れる。その歴史は古く、造幣局の所在地である大阪市北区天満の大川沿いの桜は、昔から景勝の地として名高く、この地一帯に桜が咲き乱れていたという。そこで1983年に、当時の局長が「局員だけの花見ではもったいない。市民とともに楽しもうではないか」と提案し、

造幣局桜の通抜け

構内の桜並木の一般開放が始まった。昨年で12では、美味しそうな匂いが漂う露天が立ち並んでいるが、南門をくぐる

現代人の心癒す370本

明治から続く浪速の春の風物詩

と「飲食禁止・禁煙」となっており、通常の花見とは違う楽しみ方が味わえる」という。

おおざかウォッチング